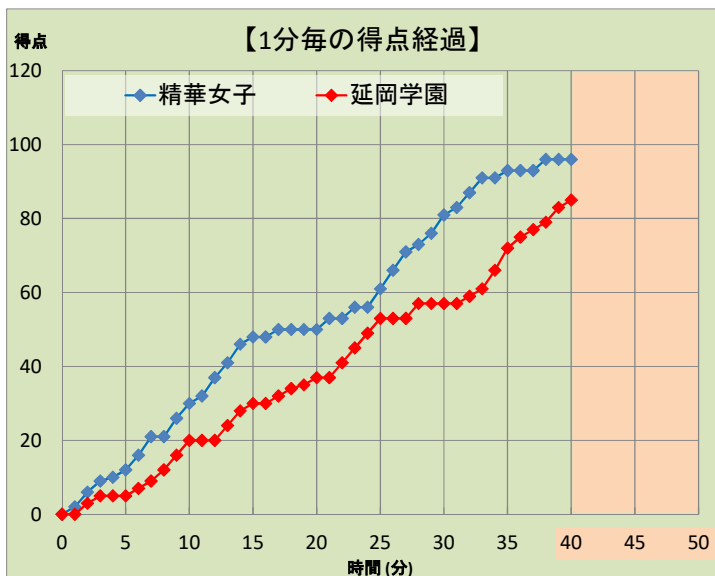


第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日)	9:00
コート	Aコート	第1試合
カテゴリー	女子	準決勝
主審	紀伊 孝哉	
第1副審	西村 かおり	
第2副審	仲間 芳幸	

TEAM A			TEAM B		
精華女子	96		85	延岡学園	
福岡1位				宮崎1位	
○				●	

30 1st 20

20 2nd 17

31 3rd 20

15 4th 28

OT

【BOXスコア】

TEAM A		精華女子高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	樋口 鈴乃	◎ 23	2	7	3	2	
5	屋宜 沙弥香	0					
6	木村 瑞希	○ 19		9	1	5	
7	三浦 舞華	○ 31	3	8	6	1	
8	吉原 陽世	2		1		2	
9	嵐 夏妃	0				1	
10	仲真 華子	0				1	
11	齊藤 風香	○ 9	1	3		1	
12	日高 ひかる	0					
13	徳永 夏	3	1				
14	中園 陽菜乃	○ 9	1	3		1	
15	高木 愛華	0					
16	岡田 ひまわり	0					
17	野田 みどか	0					
18	倉掛 日和	0					
コーチ	大上晴司						
合計		96	8	31	10	14	

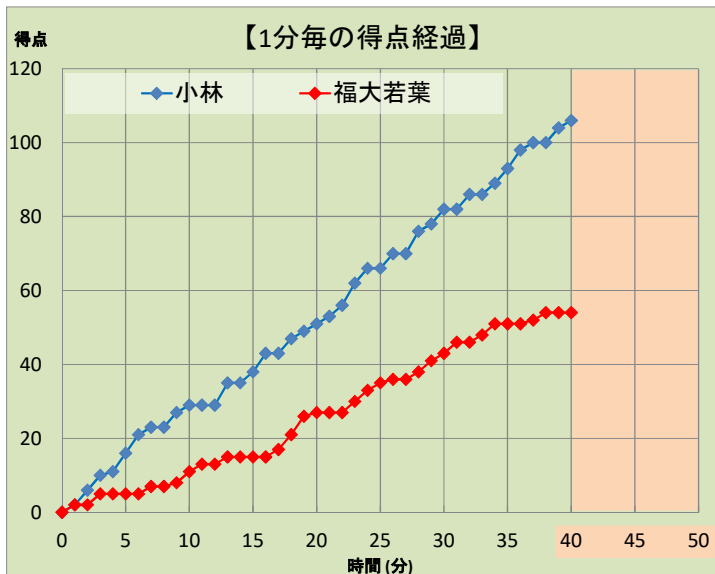
TEAM B		延岡学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	佐藤 亜美	3		1	1	3	
5	デンベル サナタ	0					
6	谷ノ口 陽菜	0					
7	笹栗 圭夏	◎ 0					
8	甲斐 心温	○ 0					
9	岩切 陽菜	2		1		1	
10	慎野 綾乃	○ 13	1	4	2		
11	柳田 蘭	0					
12	河野 すみれ	0					
13	塩月 絢音	○ 6	2			4	
14	西野 彩音	2		1		2	
15	ムボムボ ムロロ ファーロン	○ 59		26	7	3	
16	黒木 江美里	0					
17	上野 瑞綺	0					
18	米倉 菫乃	0					
コーチ	内村 昌弘						
合計		85	3	33	10	13	

【戦評】

全九州大会準決勝、福岡県1位精華女子対宮崎県1位延岡学園との対戦、精華女子#4、#6、#7、#11、#14、延岡学園#7、#8、#10、#13、#15のスターティングメンバーで試合開始。第1Q、精華は#4#11のジャンプシュートで4点先制、延岡学園は#15のフリースローとゴール下で3点を返す。序盤、延岡学園#15がインサイドでポジションを取ろうとするが、精華#6が体を張ってこれを阻止。4分半、14対5とリードされたところで延岡学園最初のタイムアウト。7分、精華#6が2つ目のパーソナルファウルを取られ交代すると延岡学園はインサイドの#15にボールを集める。一方精華は#7の2本の3ptsなどで30対20とリードして第1Q終了。第2Q、精華は#7の1on1、3ptsなどでリードを広げるが、7分半、#6が4つ目のファウルをコールされ交代。この後、延岡学園追い上げを見せるも、50対37と精華がリードを保ち前半終了。第3Q、精華#6はベンチスタート。精華は#11の3ptsで後半最初のスコアを挙げるが、延岡学園はインサイドの#15にボールを集めペースを掴む。4分、56対49と追い上げられ精華タイムアウト。ここで#6がコートに戻ると流れは精華へ。激しいディフェンスからの速攻と#4の2本の3ptsで得点を重ね、81対57で第3Q終了。第4Q、開始早々精華#4がジャンプシュート2本連続で沈める。4分、精華#6がファウルアウト。直後、延岡学園は#13、#10の連続3ptsで追い上げ、#15もインサイドで存在感を見せるが、96対85で試合終了。チームディフェンスで決勝に駒を進めた精華女子にあと一步及ばなかったが、延岡学園の健闘も称えたい。

【戦評記者】 三好 洋一郎
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日)	9:00
コート	Bコート	第1試合
カテゴリー	女子	準決勝
主審	隈元 ゆみこ	
第1副審	副島 亜紀子	
第2副審	小川 隆三	

TEAM A			TEAM B		
小林	106	29 1st 11 22 2nd 16 31 3rd 16 24 4th 11 OT	54	福大若葉	
宮崎2位				福岡2位	
○				●	

【BOXスコア】

TEAM A		小林高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	宮崎 叶	3	1				
5	老山 花歩	○ 19	3	2	6		
6	フェスターガード ヤヤ アマンドラ	◎ 12		6		1	
7	園田 夏菜	○ 15		7	1	2	
8	坂本 光奈美	5	1	1		1	
9	黒木 和花	0					
10	菅野 伊万里	2		1			
11	橋本 佳歩	0					
12	古閑 万優子	10		4	2	3	
13	松原 志帆	○ 14	2	4		4	
14	江頭 璃梨	○ 12		6		1	
15	高橋 小春	0					
16	平田 莉奈	0				2	
17	川合 希朱	14		7		1	
18	田上 凜	0					
コーチ	前村 かおり						
合計		106	7	38	9	15	

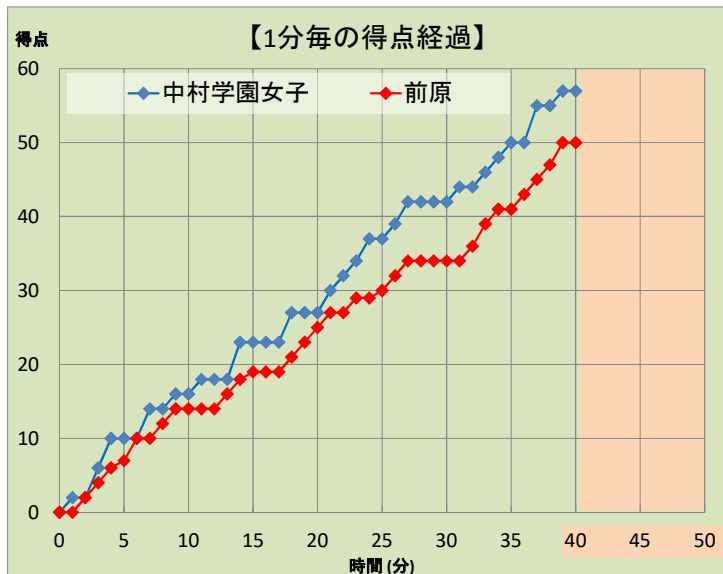
TEAM B		福大若葉高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中嶋 ゆめ	◎ 9	3			3	
5	永野 真光	○ 7	1	1	2		
6	吉岡 柚葉	2		1			
7	幸丸 嘉乃	0					
8	白土 友恵	2		1			
9	留森 杏実	○ 9		4	1	2	
10	川上 楓華	3	1				
11	磯野 志歩	○ 4	1		1	1	
12	田代 沙也佳	0					
13	下地 美和	0				2	
14	和田 春菜	4		2		1	
15	中村 愛結	○ 14	1	4	3	5	
18	船橋 茉生	0					
コーチ	池田 憲二						
合計		54	7	13	7	14	

【戦評】

全九州大会準決勝、宮崎県2位小林対福岡県2位福大若葉との対戦。スターティングメンバーは、小林が、#5、#6、#7、#13、#14。福大若葉が、#4、#5、#9、#11、#15で試合開始。第1Q、ディフェンスは小林、福大若葉ともにマンツーマンでスタート。主導権を握ったのは小林。オールコートのディフェンスで仕掛け、#14のドライブや#7のゴール下シュートでリードを広げ、残り5分、小林が16-5とリードしたところで、福大若葉はタイムアウト。福大若葉はメンバーチェンジから打開策を探り、ハイポストからのハンドオフプレーや1対1で果敢に攻めるが、小林は#14のドライブ、ナンバープレーから#7のゴール下シュート、オフェンスリバウンドなどで主導権を握ったまま、第1Qを29対11で小林がリードして終了。第2Qは、出だしから、福大若葉が速攻からチャンスを作り、#15を中心に攻める。残り2分からオールコートで積極的な守りを展開し、#4の3ポイントなどで追い上げるが、オフェンスリバウンドを取り続けた小林が、第2Qを51対27でリードして終了。第3Qは福大若葉が厳しい守りから、リズムをつかみ、#5の3ポイントで追い上げるが、小林は#6の1対1や速攻からゴール下に走りこんだ#7への合わせなどで福大若葉を引き離す。福大若葉は、残り5分、スリークォーターから1-2-2のゾーンプレスディフェンスで仕掛けるが、小林が#8や#5の3ポイントでリードを広げ、第3Qを82対43でリードして終了。第4Q、福大若葉がオフェンスリバウンドを取って#4が3ポイントを沈め、さらに速攻から#14のタップシュートで追い上げるが、小林も速攻や#17のリバウンドシュート、#12のゴール下シュートなどでリードを広げ、106対54で小林が勝利し、決勝に進出した。両チームともに最後まで走るバスケットボールを展開した、高校生世代の模範的な好チームであった。

【戦評記者】 石井 雅太
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日) 9:00	
コート	Cコート	第1試合
カテゴリー	女子	準決勝
主審	柿原 実	
第1副審	松田 茂治	
第2副審	前田 隼大	

TEAM A		TEAM B															
中村学園女子	<table border="0"> <tr><td>16</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>11</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>15</td><td>3rd</td><td>9</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	16	1st	14	11	2nd	11	15	3rd	9	15	4th	16	OT			前原
16	1st	14															
11	2nd	11															
15	3rd	9															
15	4th	16															
OT																	
福岡4位	57	50															
○		●															
		沖縄3位															

【BOXスコア】

TEAM A		中村学園女子高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	岡村 愛海	0					
5	永野 未歩	0					
6	阿部 蘭	○ 15	3	2	2		
7	矢野 美咲	○ 0				2	
8	河野 里奈	0					
9	平岡 陽菜	○ 7		3	1	1	
10	橋爪 亜美	0					
11	松下 さくら	0					
12	浦野 来望	◎ 6		3		3	
13	石田 千尋	3	1			1	
14	窪田 華音	0					
15	國井 仁奈梨	○ 26		13		2	
16	篠原 結生	0					
17	森下 華帆	0					
18	佐世 菜奈子	0					
コーチ	平岡 雅司						
合計		57	4	21	3	9	

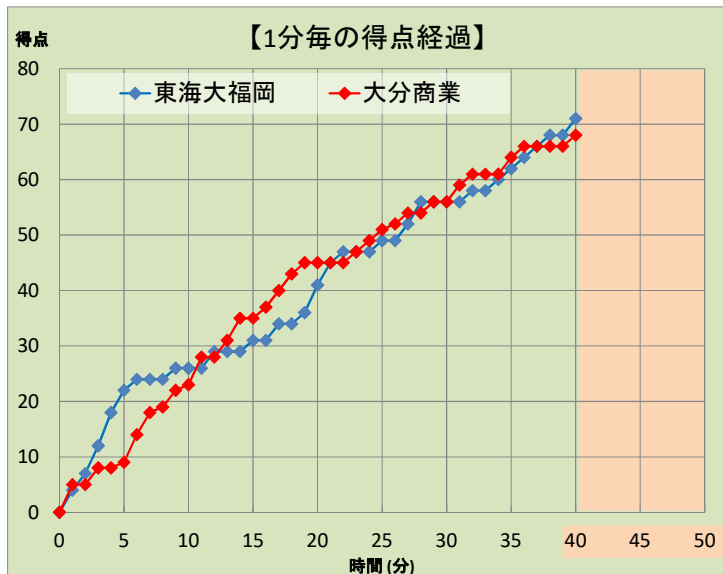
TEAM B		前原高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中山 葵葉	◎ 12	1	4	1		
5	伊波 海咲	0					
6	田本 萌	0					
7	島袋 葵衣	0					
8	島村 涼子	0					
9	金城 茉莉亜	○ 22	1	9	1	2	
10	兼島 藍	0					
11	長濱 真子	○ 7	1	2		2	
12	饒平名 紗也乃	0					
14	安里 桃花	0					
15	新垣 そら	0					
16	国吉 涼菜	0					
18	渡口 明奈	0					
20	中村 玲菜	○ 2		1		1	
21	宮里 築	○ 7		3	1		
コーチ	喜久山 泰司						
合計		50	3	19	3	5	

【戦評】

全九州大会Bパート準決勝、福岡県4位中村学園対沖縄県3位前原との対戦、中村学園のスターティングメンバーは、#6、#7、#9、#12、#15、前原のスターティングメンバーは、#4、#9、#11、#20、#21で第1Q両チームともマンツーマンで試合開始。前原は#9のミドルシュートを中心に攻撃。また、#21がハイポストからのシュートを放つが中村学園長身の#15のディフェンスに阻まれる。一方中村学園は#12ポイントガードのドライブから攻撃する。前原#21は、インサイドから外にでて3Pを決める。前原#9の3Pで食い下がり、シーソーゲームとなる。14対16で中村学園がリードで第1Q終了。第2Q中村学園#15ポストプレーでゴール。また、前原#4のキレのいい速攻ドライブが決まる。5分経過し4点差で中村学園リード、残り4分で中村学園タイムアウト。残り3分で前原タイムアウト。膠着状態が続く。25対27で前半は中村学園リードで終了。第3Q始まりは、中村学園がワンフォーのナンバープレーなど展開を変える。5分経過して7点差で中村学園リード。前原も必死のディフェンスで食い下がる。34対42で中村学園が依然リード。第4Q出だし中村のシュートが決まり初めて二桁のリード。前原はゾーンプレスに変えるが中村学園はミドルシュートが決まりだす。残り5分を切ったところで前原タイムアウト、前原は1-2-2のゾーンプレスで中村学園に圧力をかけるが#12の落ち着いたボール運びでシュートまで結びつける。残り1分37秒で前原タイムアウト。この時点で12点差。すぐさま前原#9の3Pが決まる。連続して中村のターンオーバーで#9速攻で決め7点差。1分を切り前原ゾーンプレスでボールを奪う。残り16秒、7点差で中村学園タイムアウト。で試合終了。中村が前原の追い上げをかわして勝利し、Bパート決勝進出となる。

【戦評記者】 内田 二郎
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日) 9:00	
コート	Dコート	第1試合
カテゴリー	女子	準決勝
主審	古後 宏和	
第1副審	中屋敷 大	
第2副審	村田 南美子	

TEAM A		TEAM B	
東海大福岡	71	68	大分商業
福岡3位			大分3位
○			●

26 1st 23

15 2nd 22

15 3rd 11

15 4th 12

OT

【BOXスコア】

TEAM A		東海大福岡高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	緒方 憊乃	1			1	3	
5	田口 璃々花	0					
6	島 濤七	0					
7	島崎 桜	○ 11	3	1		1	
8	井浦 菜依	0					
9	新原 穂ノ香	0					
10	稲福 七海	◎ 18		9		1	
11	内藤 唯	○ 19	2	4	5	4	
12	竹元 琴音	4		2		3	
13	中山 涼	0					
14	藤井 愛理	0					
15	木寺 智美	○ 14		7		4	
16	松本 舞星	○ 4		2		3	
17	山口 サクラ	0					
18	石川 さくら	0					
コーチ	宮崎 優介						
合計		71	5	25	6	19	

TEAM B		大分商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	重井 美寿樹	◎ 7	1	1	2	3	
5	久世 愛華	○ 7		1	5	4	
6	平野 優芽	0					
7	石井 佑佳	0					
8	田島 紅葉	3	1			1	
9	釘宮 結	○ 19	3	5			
10	高 朋子	○ 24		10	4	1	
11	加崎 和	○ 8	2	1		3	
12	高橋 あかね	0					
13	亀井 彩華	0					
14	高野 愛由	0					
15	有松 京香	0					
16	富田 菜々子	0					
17	川元 みら乃	0					
18	塩田 夢佳	0					
コーチ	田北 俊郎						
合計		68	7	18	11	12	

【戦評】

全九州大会3回戦Bパート準決勝、福岡県3位東海大学福岡対大分県3位大分商業との対戦、東海大福岡は#7、#10、#11、#15、#16、大分商業は#4、#5、#9、#10、#11で試合開始。1Q東海大福岡#7、#11、#15を中心に素早い速攻を仕掛け、一気に試合の主導権を握る。1Q5:47、20-8になったところでたまたま大分商業タイムアウト。流れを掴みたい大分商業#5、#10がインサイドで奮起し、一気に3点差まで縮めることに成功。26-23東海大福岡リードで第1Q終了。第2Q大分商業#4、#11の連続得点により一気に逆転に成功する。流れを取り戻したい東海大福岡だが、3分間無得点とシュートを決めきることができない。第2Qは大分商業が中外バランス良く得点を重ね、41-45大分商業リードで前半終了。第3Q東海大福岡#15、#10#12の連続得点で逆転に成功するが、負けじと大分商業も#10を中心にインサイドを攻めて再逆転。お互い一歩も譲らず、点の取り合いが続く。56-56の同点で第3Q終了。勝負の行方は第4Qへ。第4Q大分商業#8の3Pが決まり、大分商業が抜け出すかと思えば、すかさず東海大福岡#10が力強いドライブで決め返す。お互い一歩も譲らず一進一退の攻防が続く。66-66の均衡した状況で、東海大福岡#10の連続得点が決まり東海大福岡が4点リード。負けじと大分商業#4がフリースローを獲得。これを2本とも決めて70-68東海大福岡リード。東海大福岡#11がフリースローを獲得し、1本のみ成功。71-68東海大福岡3点リード。残り14.7秒大分商業タイムアウトを請求。大分商業#9が3Pを放ち同点を試みるが、無情にもリングには入らず、最後は東海大福岡が時間を使い切って試合終了。71-68で東海大福岡が勝利。決勝戦にコマを進めた。県を代表するチームとして、最後まで全力で戦い抜いた両チームの健闘を称えたい。

【戦評記者】 花田 康寛
福岡県バスケットボール協会